

一筆啓上

作左通信



第十三号 平成十四年十月二十八日(月)発行

前日の雨がうそのように晴れ上がり、今年も「学区ふれあいウォーク祭」が、十月二十日(日)に開催されました。

十月も下旬ということ、朝夕の寒さを感じられますが、この日は、子どもたちをはじめ、お父さんやお母さん方、おじいさんやおばあさん方が家族で手に手をとって楽しそうに歩いていました。また、地域の方々も大勢参加していただき、心地よい汗をかきながら歩い

ている様子がとても印象的でした。

チュエックポイントは十カ所。西部小学校では、消防士さんに初期消火の方法を教えていただきました。岡崎市は、今年四月、東海地震の強化地域に指定され、大きな災害が起きるのではないかと考えられています。大地震の後の火事は、予想をはるかに越えるものです。初期消火の重要さを実感されたのではないのでしょうか。また、三角きんの使用方法のプリントも配られました。

た。けがをしたときの手当などで大変役に立ちます。このように、いざというときのために、非常用グッズなどを常に備えておくことが大切ですね。

浄妙寺では、昔なつかしい「ボン菓子」が提供されました。六ツ美農協の方が、ボン菓子機(このあたりは「パツカン」と言っていた)を使い、実際にその場でつくっていたきました。できたての温かいボン菓子は、参加された方々に大変好評でした。

松林寺では、最近、開発により、六ツ美の川であまり見られなくなった「タナゴ」が渡されました。子どもたちは、大はしゃぎ。「家の水槽に入れるんだ」「こ

れからえさをあげて、世話をするよ」など、大事そうに持って歩いていました。

ウォーク祭りには、毎年、趣向が凝らされ、新たな発見や出会いがあったり、楽しんだりすることができません。家族や地域の方々とのふれあいの中で、ふるさと六ツ美の良さを再発見できた一日だったように思います。来年は、どんな趣向が飛び出すか、今からが楽しみですね。



—楽しそうに学区を歩く様子—